

## 2章

製作品の  
設計・製作1 生活に役立つ製作品を構  
想しよう

## 目標

- 設計の手順を知る。
- 使用目的や使用条件に<sup>そく</sup>即した製作品を構  
想できる。



## 考えてみよう

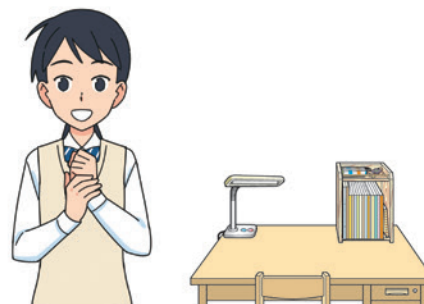
身の回りを見て、物を整理したり収納したりする必要がある場所を見つけましょう。その場所の問題点を具体的に挙げ、生活を豊かにするための工夫<sup>くふう</sup>や改善の方法を考えましょう。

私の部屋では、机の上が整理できてないな。

リビングでは、雑誌をかたづける場所がないな。



机の上を整理しよう。  
教科書、<sup>けいたい</sup>携帯音楽プレーヤ、DVD など、どれを収納しようかな。



具体的に問題点を挙げると、製作品のイメージが明確になるよ。



## 設計の手順

ものづくりは、単に製作品を作り出すというだけでなく、製作品が使われる場所の問題を、計画的に解決することを目的とします。設計では、製作品をどこで、どのように使うかといった使用目的、使用条件を<sup>もと</sup>基に、作る製作品の形や大きさを<sup>く</sup>繰り返し検討します。そして、問題の<sup>じょうきょう</sup>状況や<sup>かんきょう</sup>環境にふさわしい解決策を具体化して、図や文字で表してまとめます。まずは、身近な問題の発見や解決すべき問題の<sup>かくにん</sup>確認から始めましょう。

問題の発見は、P. 40-1

の「考えてみよう」のように  
身近な問題を探す活動だよ。



図1 設計の手順 図1-1

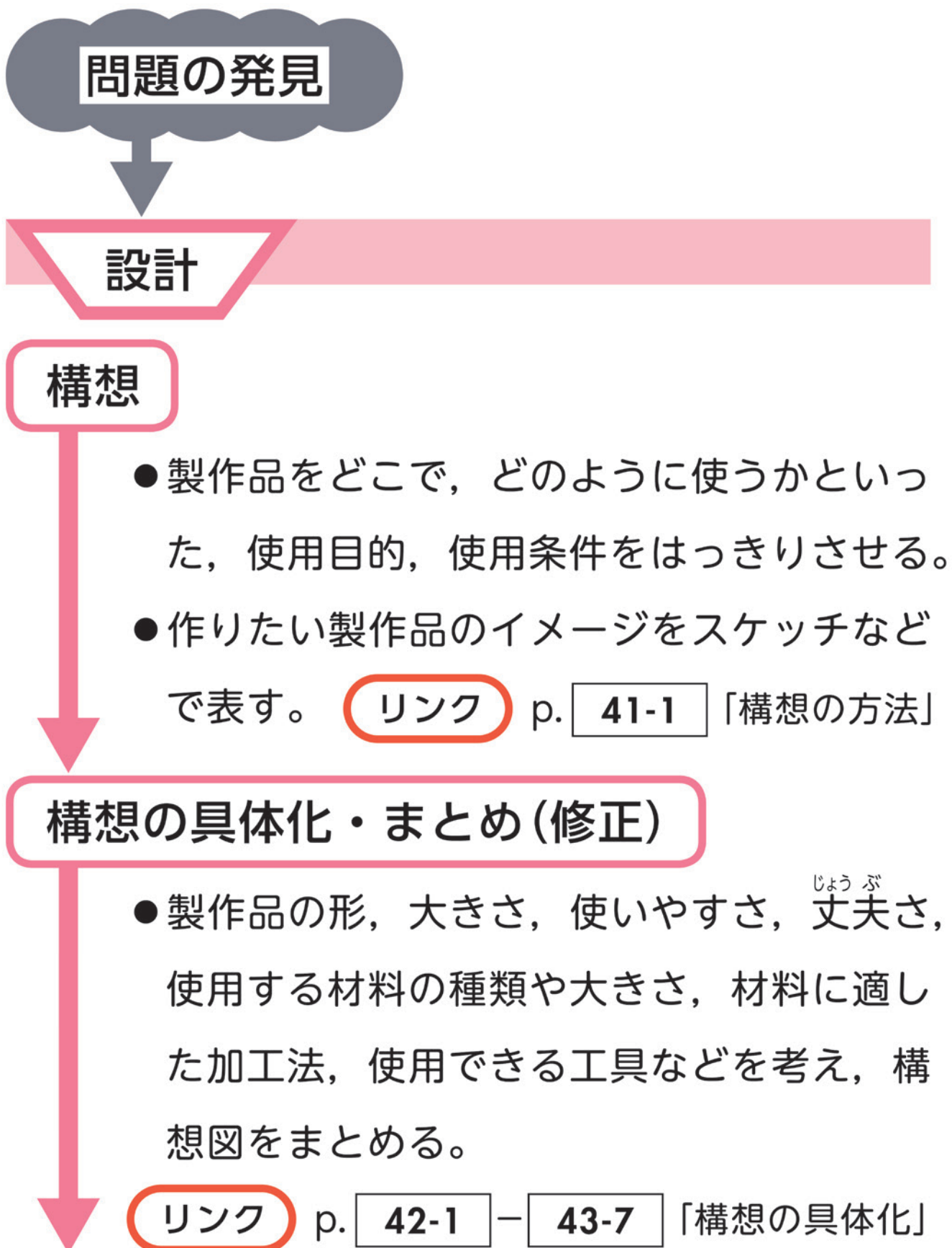


図1-2



製図

- 図法に従って、構想を製作に必要な図として表す。

リンク

p.

44-1

—

49-9

「製図」

## 構想の方法

構想は、まず発見した問題への解決策を考え、製作品のイメージを具体化します。製作品の使用目的や使用条件を書きだし、優先順位を付けながら決定します。検討したイメージを簡単なスケッチや文章でカードなどにまとめます。

## 資料

## アイデアを広げる方法

アイデアを広げる方法として、イメージマップがあります。中心のキーワードから思いつく言葉をつないで構想します。

